

環境会計

●集計範囲：株式会社ツムラ(単体) ●対象期間：2017年4月1日～2018年3月31日 ●参考ガイドライン：環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

環境保全コスト〔千円〕

環境保全コストの分類	主な取り組み内容	2016年度		2017年度	
		投資	費用	投資	費用
(1)事業エリア内コスト		118,023	709,549	130,578	699,255
公害防止コスト	大気汚染・水質汚濁・悪臭の防止など	66,959	303,351	88,463	308,528
地球環境保全コスト	地球温暖化防止・省エネルギー、オゾン層破壊防止など	51,064	102,864	42,115	105,052
資源循環コスト	資源効率的利用、廃棄物リサイクル・処理・処分など	0	303,334	0	285,675
(2)上・下流コスト	容器包装などの低環境負荷化、製商品の回収、リサイクル、再商品化、適正処理など	0	17,230	0	19,162
(3)管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備運用、情報開示・環境広告、環境教育など	1,800	126,899	0	126,716
(4)研究開発コスト	環境保全に資する製品の研究開発など	0	93,862	0	106,711
(5)社会活動コスト	環境保全を行う団体などに対する寄付、支援など	0	3,231	0	2,941
(6)環境損傷対応コスト	自然修復、引当金繰入額・保険料など	0	1,542	0	1,531
(7)その他コスト	放射線障害の防止など	0	0	0	0
合計		119,823	952,312	130,578	956,315

環境保全効果

効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2016年度	2017年度	増減
事業活動に投入する資源	総エネルギー使用量(GJ)	1,189,528	1,139,874	-49,654
	水資源使用量(t)	1,133,353	1,117,681	-15,672
事業活動から排出する環境負荷	温室効果ガス排出量(t-CO2)	60,638	57,671	-2,967
	排水量(t)	941,713	878,675	-63,038
	廃棄物総排出量(t)	17,045	13,552	-3,492

環境保全対策に伴う経済効果〔千円〕

効果の内容		2016年度	2017年度
収益	有価物の売却益	9,506	9,093
費用節減	フレコン・ダンボール・紙袋等廃棄物の有価物化に伴う廃棄物処理費(金属は除く)	76,599	97,637
合計		86,105	106,730